

# 第18回 全日本少年春季軟式野球大会 札幌支部大会 実施要項

北海道軟式野球連盟札幌支部  
札幌軟式野球連盟

- 1 主催 北海道軟式野球連盟札幌支部（札幌軟式野球連盟）
- 2 後援 札幌市、札幌市教育委員会、（一財）札幌市スポーツ協会、北海道新聞社（予定）
- 3 会期 2026年8月1日（土）～8月中旬（変更の可能性あり）
- 4 会場 美香保公園野球場A・B・C（札幌市東区北21条東4・5丁目）他
- 5 チーム編成
- (1) 中学1・2年生で編成されたチームとし、女子の参加も認める。
  - (2) 全日本軟式野球連盟への登録（野球ねっと登録）し、札幌連HPのエントリー登録用紙に記入してメールにて申し込むこと（手書きのものをPDF化したもの及び写真による提出不可）。
  - (3) チームは、スポーツ傷害保険等の傷害保険に必ず加入すること。
  - (4) 硬式ボールを使用している団体に登録、または、大会に参加しているチーム・監督・選手は、当連盟が主催する大会には参加できません。
  - (5) チーム編成は以下のとおりとする。（ベンチに入れる者）
    - ・チーム代表者 1名（20歳以上の成人者）
    - ・監督 1名（背番号30番）
    - ・コーチ 2名以内（背番号28・29番）
    - ・選手 25名以内（主将10番、選手0～99番までの背番号）
    - ・スコアラー 1名
    - ・マネージャー 1名
  - (6) 野球ねっとのチーム登録の人数制限はしません。
  - (7) 野球ねっとで登録したチームを複数のチームとして大会エントリーをすることができます。
- 6 適用規則 2026年公認野球規則、全日本軟式野球連盟競技者必携及び大会特別規則による。
- 7 大会規律 不正出場、その他規則違反に対しては、札幌軟式野球連盟規約により処罰する。
- 8 使用球（公財）全日本軟式野球連盟公認球M号を使用する。
- 9 参加申込みと参加料
- 申込期間 2026年6月15日（月）～7月14日（火）17:00まで
- 出場したいチームは、申込期間内に以下の全てを完了すること。
- ①野球ねっとによるチーム登録。
  - ②札幌軟式野球連盟HPにある「登録・申請用紙」から「少年大会用エントリーシート」に記入した上で以下の申込先アドレスにメールにて提出（手書きのものをPDF化したもの及び写真による提出不可）。記入にあたっては、「帯同審判予定者」「修学旅行の日」の事項に漏れないようにすること。
  - ③登録料【8,000円+登録数（監督・コーチ・選手の総数）×50円】及び参加料（以下参照）の振込。
- ※登録料については、春の全日本少年大会時の同一チーム（単独・合同）は不要。しかし、新たに単独または合同チームで参加する場合必要。また、構成員登録料は春の全日本少年大会時に登録した者を登録IDを基に編成した場合は不要。新規登録者は50円/名が必要なため、参加料と共に振り込むこと。
- 申込先 札幌市中央区中島公園1番5号 札幌中島体育センター 2階  
札幌軟式野球連盟事務局 TEL 533-6133 FAX 533-6134  
mail : s-yakyuu@grape.plala.or.jp
- 参加料 15,000円
- ※1チーム登録で複数出場の場合、2チーム目からは参加費のみで出場可能です。
- 参加料の振込先 ゆうちょ銀行 郵便振替 口座記号番号 00110-1-266388 加入者名 札幌軟式野球連盟  
通信欄には大会名とチーム名を記入してください。手数料はチームでご負担ください。  
（お振込みに際しては振り込み明細書をもって領収書に代えさせていただきます。）
- 10 監督会議 日時 2026年4月25日（土）9時00分～ 美香保体育館 審判講習会と同時に実施する。
- 11 開会式 実施しない
- 12 組合せ抽選 2026年7月18日（土）代理抽選を行う。
- 13 表彰 優勝に賞状、優勝旗、優勝盾 準優勝には賞状、準優勝盾、第3位には賞状、盾を贈呈。
- 14 北海道大会への出場 優勝チームは、南北海道大会に出場する。
- 15 大会特別規則 南北海道大会は、2026年9月19日（土）～9月21日（月・祝）に後志支部にて開催される。
- (1) 本大会は7回戦とし、雨天・日没等による正式試合は、4回終了以降とする。
  - (2) 得点差によるコールドゲームを採用し、4回終了以降7点差とする。  
試合開始後2時間30分を経過した場合は、新しいイニングには入らず、均等回完了を以て勝敗を決する。
  - (3) 7回終了後同点または試合開始後2時間30分を経過し同点の場合は、いずれもタイブレーク方式（無死1・2塁から継続打順）により、投手の投球制限を遵守の上、最大2イニング行う。  
9回を終了して勝敗がつかない時は、抽選（9回終了時に出場している9人による）で勝敗を決定する。  
ただし、決勝戦は、投手の投球制限を遵守の上、勝敗が決するまでタイブレーク方式を続行する。
  - (4) 投手の投球制限については、1日100球以内とする。  
規定投球数に達した場合、その打者が打撃を完了するか、攻守交代まで投球できる。  
ホークにもかわからず投球したものは、投球数に数える。  
タイブレークになった場合、規定投球数以内で投球できる。  
けん制球や送球とみなされるものは、投球数としない。  
投球数の管理は、チーム同士で行うことがある。
- (5) 本大会はDH制を採用することができる。ただし、二刀流選手は採用しない。
- 16 帯同審判 帯同審判制度を実施します。ただし、参加の有無を大会参加の条件とはしません。
- (1) 帯同審判を行う者は、4月25日（土）に行われる審判技術講習会を受講しなければならない。詳細は別紙参照。
  - (2) 第1試合の両チームは、第3試合の審判を1人ずつ、第3試合の両チームは第1試合の審判を1人ずつ担当する。第2試合の両チームは、第4試合の審判を1人ずつ、第4試合の両チームは第2試合の審判を1人ずつ担当する。
  - (3) 試合開始予定時刻の30分前までに集合すること。
  - (4) 服装は、原則としてそれぞれの所属の審判服とする。審判服がない場合、上衣は黒・紺系、下衣はグレー系が望ましい。また、帽子を必ず着帽すること。
  - (5) 本大会において2回戦、3回戦が同日に行われる時は、いずれも帯同審判を実施する。
  - (6) 本大会においてすべての試合が3回戦以上の場合は帯同審判を実施しない。
- 17 その他
- (1) ベンチ入りする監督、コーチ、選手は必ず背番号つきユニフォームを着用すること。チーム代表者等は私服でもよいが、スカート姿でベンチに入ってはならない。
  - (2) 出場チームの捕手は、危険防止のため必ず（公財）全日本軟式野球連盟公認のマスク、プロテクター、レガース、ヘルメット、およびファウルカップを着用すること。また、打者、走者、ベースコートは必ず両イヤーフラップのついたヘルメットを着用すること。
  - (3) 抗議のできる者は、監督と当該プレーヤーとし、監督に限り「一般」と同様グラウンドに出て指示することができる。
  - (4) その日の第1試合に出場するチームは、試合開始時刻30分前までに打順表（3部）を大会本部へ持参すること。第2試合以降のチームは、前の試合の4回終了時までに打順表（3部）を大会本部へ持参すること。
  - (5) 参加選手は、マイナ保険証、資格確認証、もしくはこれに準じるものを持参し試合に臨むこと。
  - (6) 申し込みいただいた個人情報、連盟の活動以外には使用いたしません。
  - (7) 一昨年から全日本軟式野球連盟（野球ねっと）へのチーム登録が必要となっています。